



ウクライナにおけるロシア軍の戦力を理解する

2022年2月下旬にロシアがウクライナに侵攻した後、米国に本拠地を置く**戦争研究所 (ISW)** は、戦争に関する詳細情報を明らかにするレポートをいくつか発表しました。特に、「**ウクライナを失うことの代償**」という2部構成の分析では、ロシアがウクライナで勝利した場合のNATOへの戦略的安全保障上の影響について論じています。

ISWは、確信ある研究、信頼できる分析、革新的な教育を通じて、情報に基づいた軍事問題の理解を深めることを目指しています。そして、米国の戦略的目標を達成するために、軍事作戦を遂行し、新たな脅威に対応する国力を向上させるよう取り組んでいます。ISWは、無党派、非営利の公共政策研究機関です。

ISWは、2023年初頭にBabel Street Insightsの利用を開始しました。Babel Street Insightsは、世界中で公開されている膨大な数のデータソースから引き出された、独自の多言語インサイトを幅広く提供しています。

課題

今回のケースでは、ISWはウクライナにおけるロシアの戦闘序列 (ORBAT : Order of battle) の最新の評価結果を示す一連の概念的マップを作成することにしました。「戦闘序列」とは、特定の地理的領域または戦域内での軍隊 (部隊、艦艇、航空機、大砲など) とその指揮統制の配置を表すために使用される軍事用語です。ORBATにより、アナリストは、軍隊がどのようにして戦争を繰り広げて目標を達成するのかを理解することができます。マップを作成するには、現在の戦場の状況を表す、ウクライナにあるすべてのロシア戦闘部隊の所在に関する情報が必要でした。

これらの地図は、ロシアがウクライナで完全勝利した場合に、ウクライナとベラルーシの国境付近にロシア軍部隊を恒久的に配備する地点を仮定した場合のベースラインとなると考えました。ISWは、ロシアがその戦闘部隊のほとんどを既にウクライナに配備しており、ロシアが勝利し、ウクライナの最西端の国境に到達できれば、この戦争で十分な経験を積んだ部隊とNATOが対峙することになると実証しようとしていました。ORBATは、西側諸国がウクライナを支援し続けることで、ウクライナ軍がロシアの軍事力の大部分を打ち負かすことができる一方で、ロシアが勝利すれば、ロシア軍が黒海から北極海までのNATO国境を脅かし、NATOの防衛費を大幅に増加させるであろうことを示そうと考えました。



Babel Streetは重要なインサイトを提供

ORBATを策定するにあたり、ISWロシアアナリスト兼副チームリーダーのKateryna Stepanenko氏は、Babel Street Insightsを利用して、ロシアのインターネット全体にわたるロシア軍の配備に関する情報を検索しました。VKやTelegramなどのロシアのソーシャルメディアプラットフォームに対して、Babel Streetは通常の検索ブラウザよりはるかに優れた情報収集能力を持ち、一般的には表示されない情報源からORBAT情報を見つけることができました。

これにより、多数の部隊の現在地を特定するために、何時間もかけて手動で検索する必要があった作業が効率化されました。Stepanenko氏は、「Street Insightsが、ロシア軍人の家族からのソーシャルメディアへの投稿を発見し、そこに軍部隊の現在地が書かれていたことにより、特定のロシア軍部隊の位置を特定することができました」とコメントしました。

Stepanenko氏はInsightsを活用して、ロシア軍人の死亡記事を地元のソーシャルメディアグループやメディアから見つけることができました。これらの記事には、ORBATの重要な情報も掲載されていました。重要なのは、Insightsは削除されたコメントも保存していることです。これにより、本来であれば削除または検閲されていたはずのORBAT情報を得ることができます。

Stepanenko氏は、個々のロシア軍部隊をロシア語、ウクライナ語、英語で表すために、キーワード、名称、略語を多様に組み合わせたと述べました。例えば、Stepanenko氏はロシア第69独立援護旅団を見つけるために「69th Separate Covering Brigade」、「69 обрп」、「в/ч 61424」、「69-я отдельная бригада прикрытия」、「69-я отдельная Свирско-Померанская Краснознамённая ордена Красной Звезды, Амурская казачья бригада прикрытия」といったキーワードを使用しました。一元のロシア語原文では1つの部隊をさまざまな言い方で表現しています。

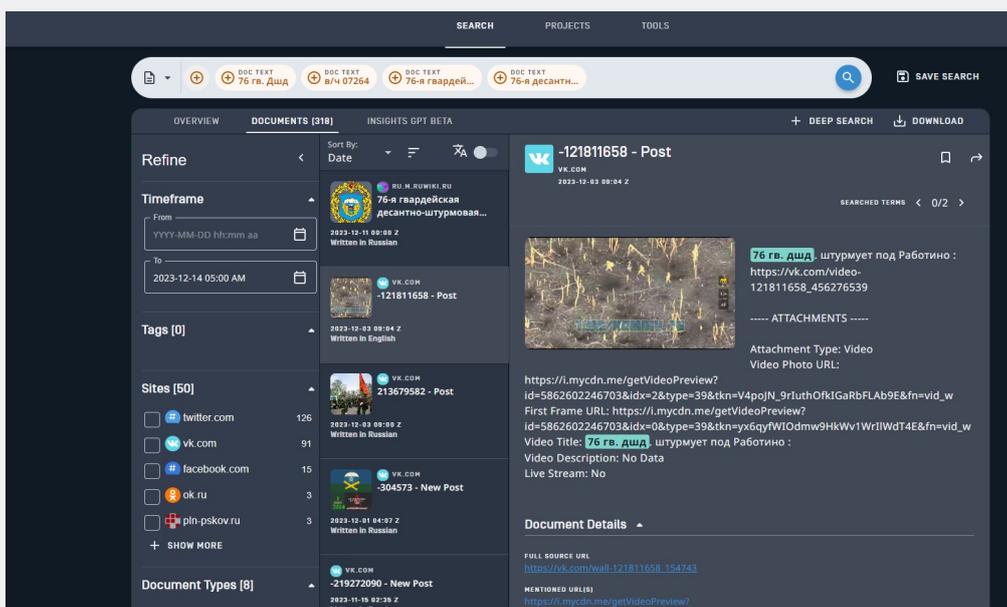


図1 — 2023年12月のザポリージャ州西部におけるロシア第76親衛空挺師団とその所在について言及した投稿のInsights検索

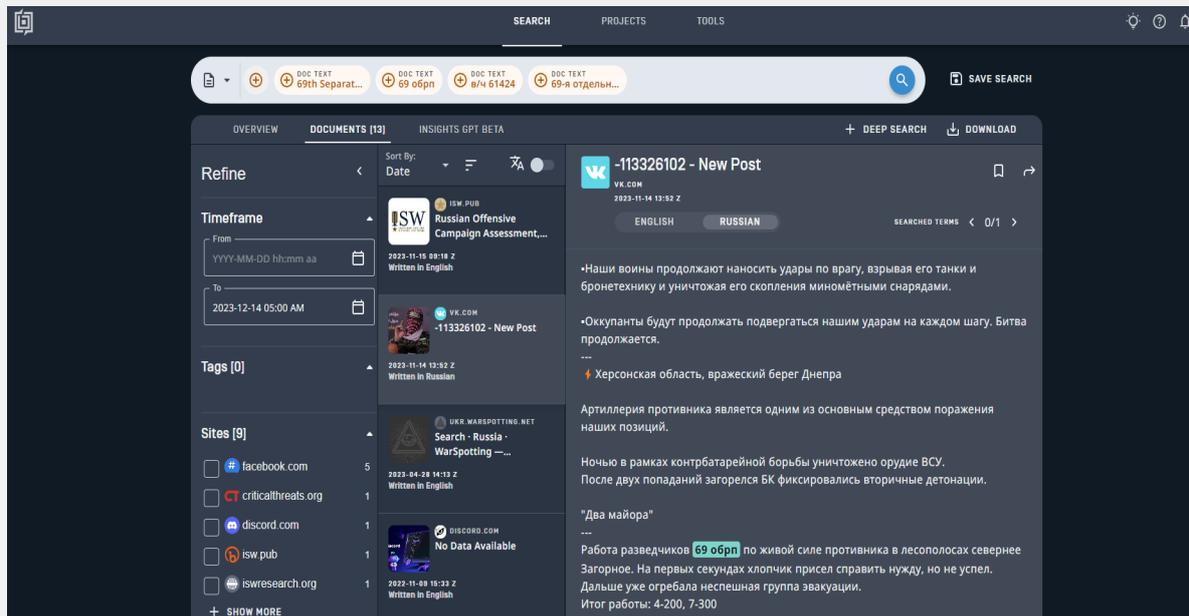


図2 — ロシアがウクライナに本格的に侵攻する前は中国国境の嚴重な防衛旅団であった、ロシア第69独立援護旅団の所在に関するInsights検索。Babel Street Insightsにより、このニッチな（特に戦闘効果が高くない）旅団がウクライナ東部で活動していたことをISWが発見し、ロシアがウクライナに配備する従来の部隊をすべて投入したことが実証されました。

影響力

このORBATは、2023年後半から2024年にかけて、ISWの最も引用されたレポートの1つとなりました。プロモーション投稿はXで7,700回リツイートされ、19,000件のいいね、725件のコメント、合計350万回の閲覧がありました。Facebookでは、レポートに400件以上のいいね、139件のコメント、285件のシェアが寄せられました。ISWチームは、この評価とマップをさまざまなテレビ放送やポッドキャストで共有しました。例えば、Stepanenko氏はこのレポートをBBCワールドニュースとヨーロッパ・レジリエンス・センターのポッドキャストで共有しました。

「Babel Street Insightsの何が最も役に立ったと思うか」との質問に、Stepanenko氏は以下の機能を高く評価していると回答しています。

- 地域のソーシャルメディアグループが公開している情報を検索
- 検索から重複を削除
- 削除された記事とコメントを表示
- ORBAT データの定期的かつ永続的な検索を作成

Stepanenko氏は、Babel Street Insightsが「さまざまな検索エンジンで、ロシア語、ウクライナ語、英語でそれぞれ検索する時間を節約できた。また、ロシアのORBATに関する新しい情報を発見できた」と述べています。

ISWは、引き続き紛争の継続的な監視と分析をおこなうためにInsightsを活用しています。Insightsの永続的な検索機能により、ISWは政府関係者、主要メディア、一般市民が使用する関連情報を継続的に収集できます。



Babel Streetは、信頼あるテクノロジーパートナーとして、世界最先端のアイデンティティインテリジェンスとリスク対策を実現します。Babel Street Insightsプラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度なAIとデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Streetは、言語を問わずにすぐに分析に使える最高レベルのデータを提供し、プロアクティブなリスク特定、多面的なインサイトの取得、高速自動処理、既存システムとのシームレスな連携を実現します。政府機関や企業が、身元の特特定やリスクに関するハイリスクな業務を戦略的優位性に転換できるよう支援します。

詳しくは、babelstreet.jp をご覧ください。